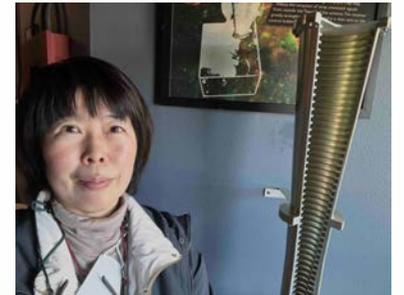


STEM 分野の未来を支える多様性- -理系の男女差を解決する鍵は、 小中教育？家庭？地域？ 開催趣旨

新永 浩子（鹿児島大学）

日本学術会議 連携会員



日本学術会議の取り組み

分野横断、地域横断した活動を展開

- 物理学委員会 物理教育分科会
- 数学委員会 数学教育分科会
- 科学者委員会 科学者委員会ジェンダー・エクイティ分科会
- 法学委員会 法学委員会ジェンダー法分科会
 - 公開シンポジウム「科学におけるダイバーシティを考える～自分らしい進路・キャリアパス選択のために～」 2025/10/04 開催

15歳数学力平均スコアの国際比較

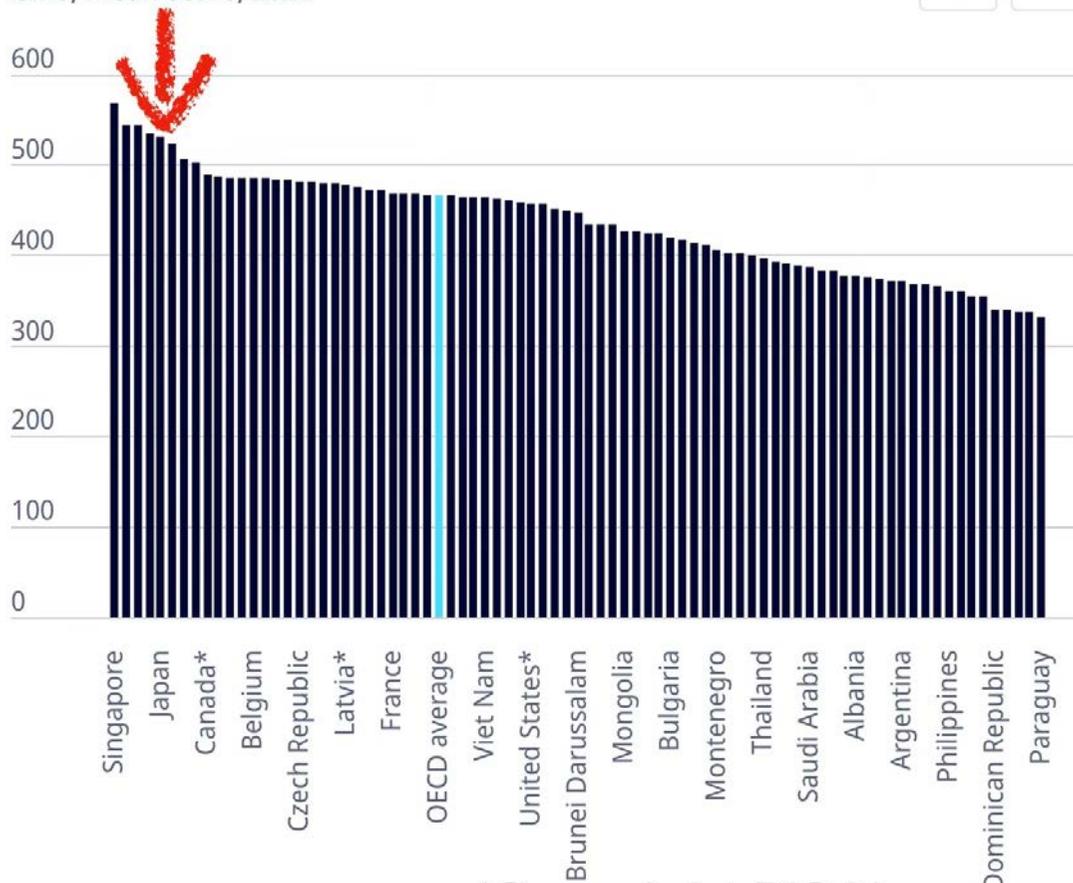
PISA 2022

- 日本の女子の数学レベルはOECD諸国の中で世界トップクラス

- シンガポール、台湾、マカオ、香港について5番目

Mathematics performance (PISA)

Girls, mean score, 2022

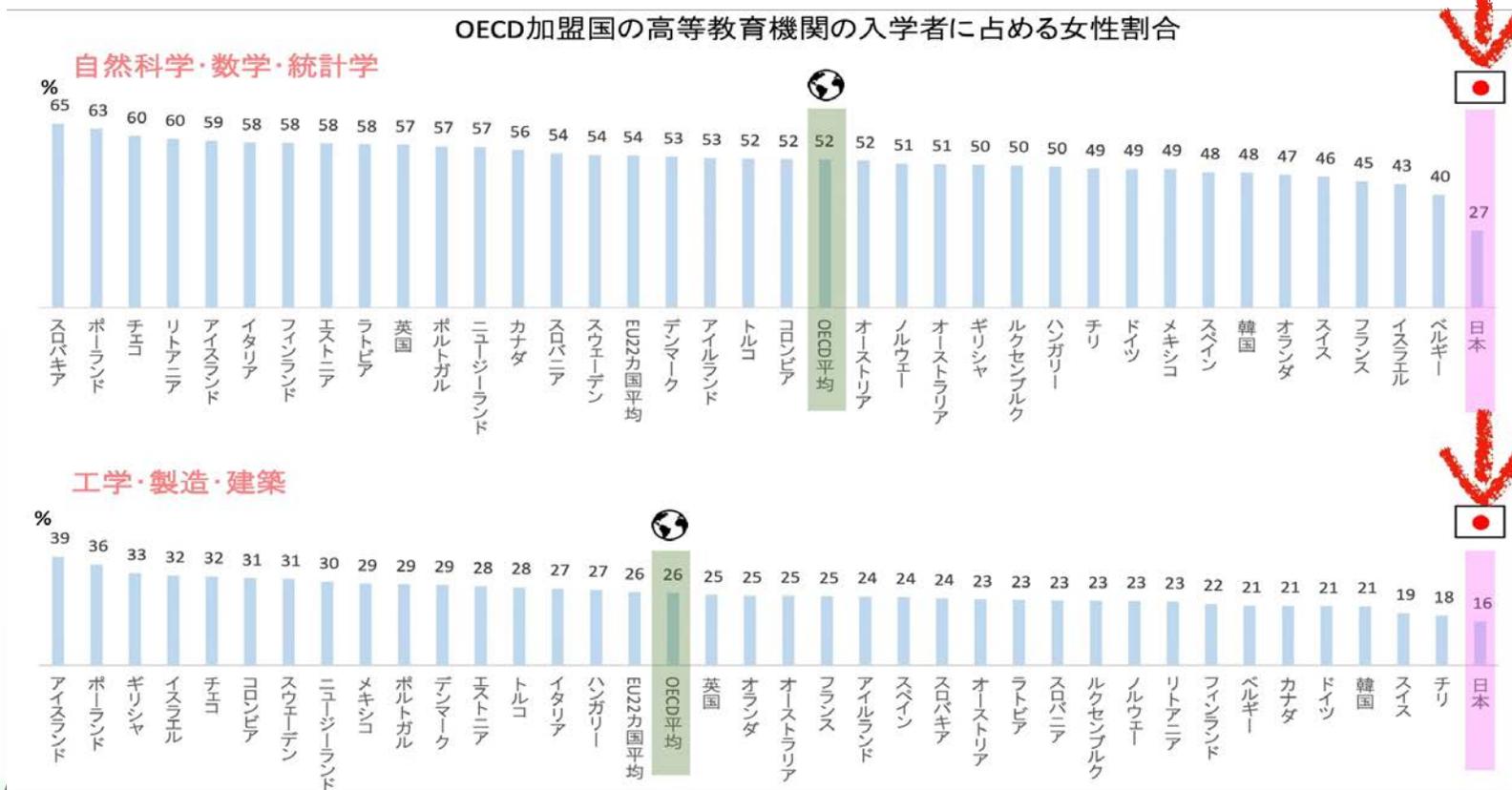


2026/2/21

(Copyright:PISA)

高等教育機関の入学者に占める女性割合

日本はOECD加盟国中最下位



2026/2/21

(Copyright:内閣府)

15歳数学力平均スコアの国際比較

PISA 2022

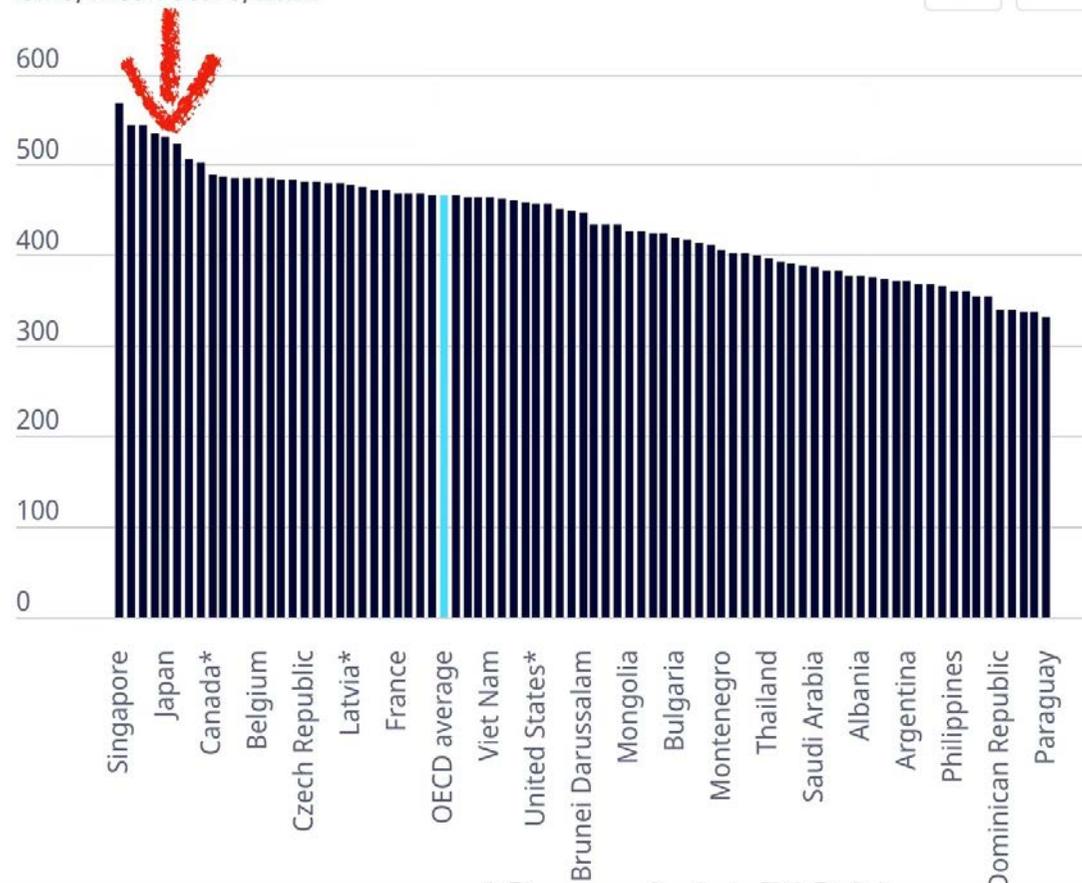
- 日本の女子の数学レベルはOECD諸国の中で世界トップクラス

- シンガポール、台湾、マカオ、香港について5番目

- この世界トップクラスの頭脳はどこへ消えているのか？

Mathematics performance (PISA)

Girls, mean score, 2022

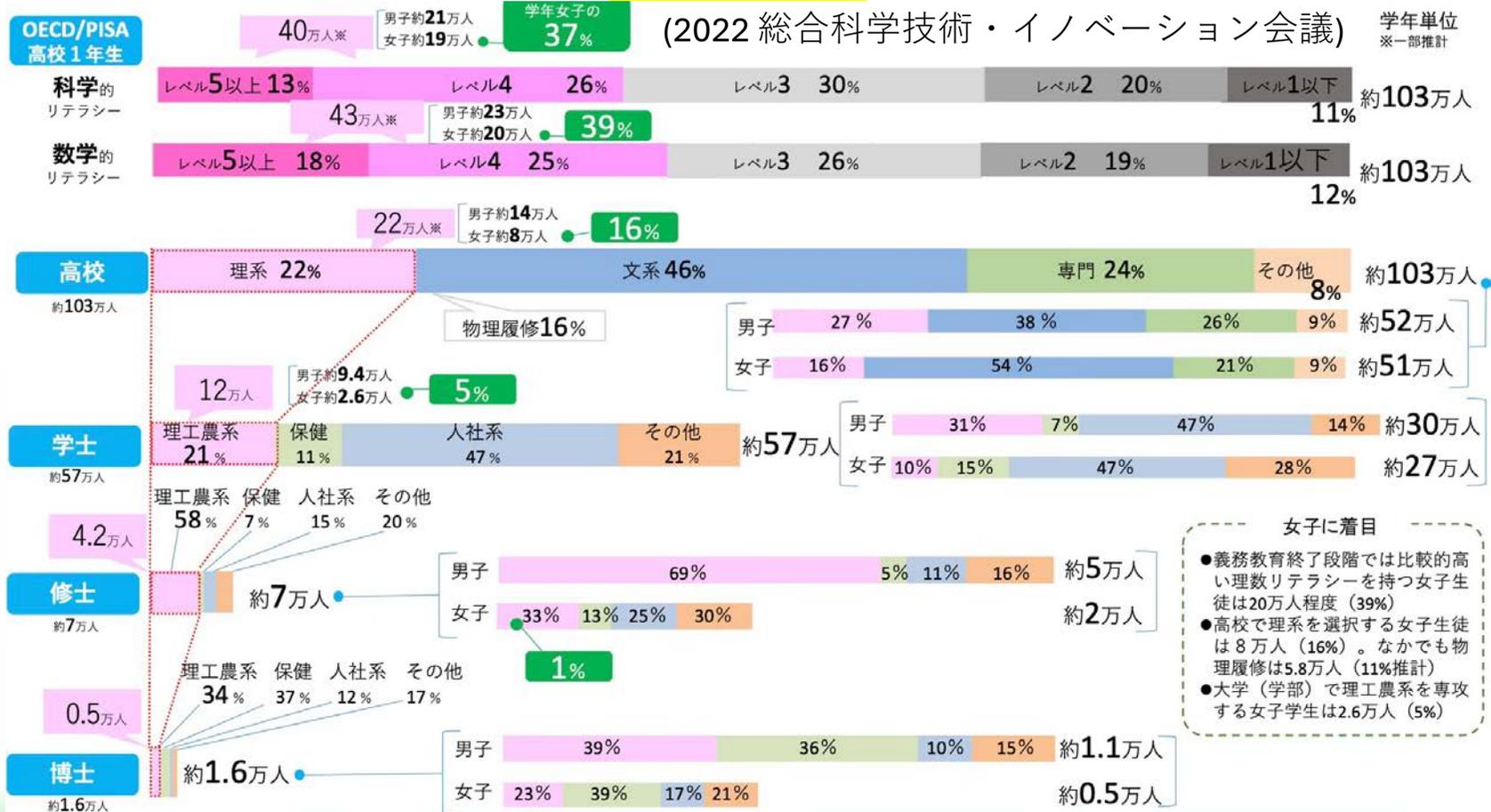


(Copyright:PISA)

日本の女子は理系に進みにくい 女子特有の事情

- 大人（親、教員）のジェンダーステレオタイプからのプレッシャー
 - 理系に進むのに理由が求められる
 - 親の期待に応えようとする
 - リスクを避ける傾向
 - 女子は自信を持ちにくい傾向
 - キャリアパスが不安 ← ロールモデルが少ない
 - ライフイベントとキャリア形成の両立が難しい ← 本来男女が平等に担う

日本の女子は理系に進みにくい 女子特有の事情 - 文理分断を契機に大幅減 → 離脱



男女の賃金格差

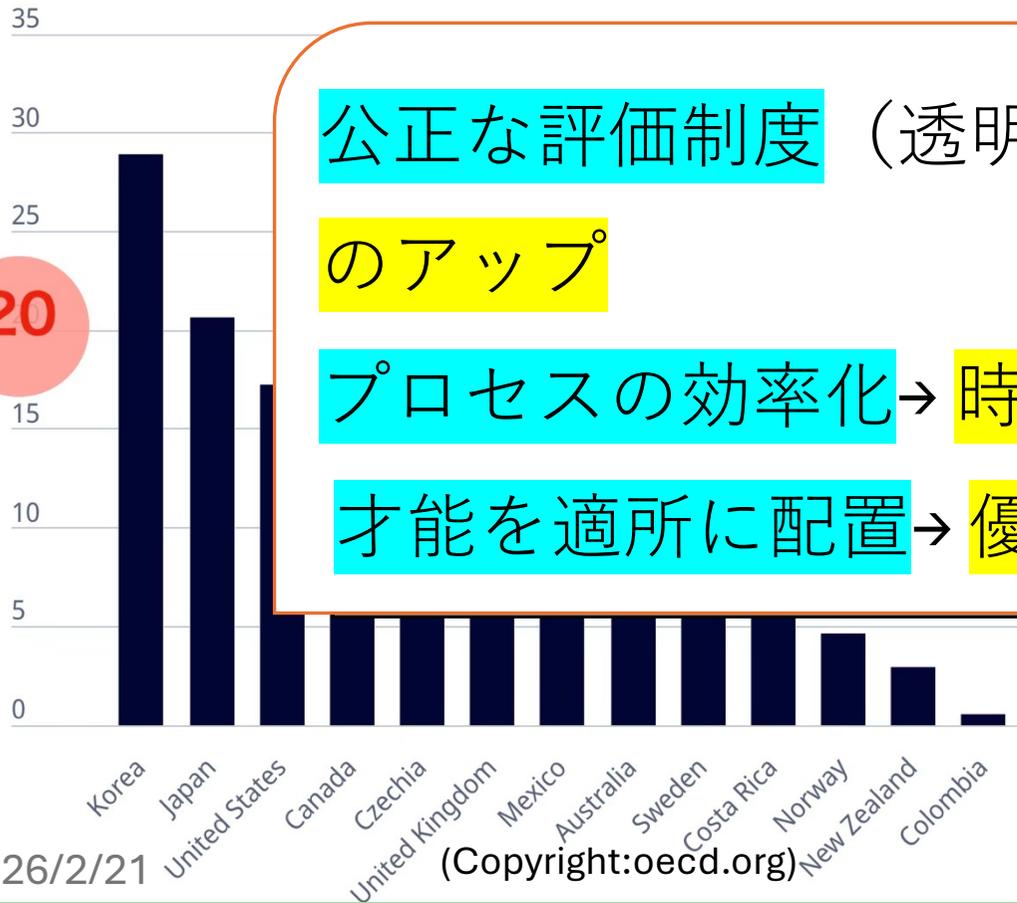
格差の是正は労働生産性を
引き上げる

Gender wage gap

% of median earnings of men, 2024



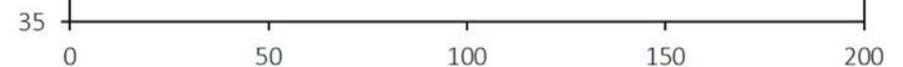
労働生産性 (ドル/時間)



公正な評価制度 (透明化) の導入 →モチベーション
のアップ

プロセスの効率化 → 時間あたりの生産性に着目

才能を適所に配置 → 優秀人材の育成と確保



イコールペイデイ (日)

図表3：男女の賃金格差（2019年）と労働生産性の関係（2020年）

出所：Eurostat、2019・National Committee on Pay Equity、2022・OECD、Labor Force Statistics、
2020・厚生労働省、賃金構造基本統計調査よりデロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザー 合同会社作成

2026/2/21

(Copyright: oecd.org)



令和8年
2/21 土
10:30~17:35

会場 日本学術会議講堂
東京都港区六本木7-22-34

我が国におけるSTEM(科学・技術・工学・数学)への女子の進出は、世界的に見ても著しく低く、長年にわたる社会的課題となっています。進学率や就業率といった量的側面にとどまらず、その背景には、学童期から積み重なる「理数科目への苦手意識」や、無意識の偏見・情報・体験の不足、そして将来像の不透明さが横たわっています。こうした課題は、個々の進路選択の問題ではなく、教育制度・社会文化・キャリア設計を含む構造的な問題としてとらえる必要があります。

本フォーラムでは、まず教育心理学と社会学の視点から、女子生徒がSTEM分野に対して抱える心理的ハードルや、進路からの「離脱」が生じるメカニズムについて明らかにします。その上で、女子中高一貫校やSSH高校における具体的な教育実践を紹介し、生徒に「面白さ」や「自分ごと」として科学を届けるための試みを共有します。さらに、合宿形式での探究型学習や大学や学協会主催の科学体験プログラム、物理学・数学・情報科学など多様な分野における先進的な取り組みを通じて、STEM分野における学びの拡張と社会とのつながりを再発見します。

また、AIや宇宙、気候課題解決といった分野で活躍するSTEM人材の職業像を紹介し、「理系＝研究者」「女子は理系に向かない」といった古い枠組みを問い直し、STEM分野が切り拓く新たな職業の可能性についても紹介し、理工系進路の魅力を再提示します。最後のパネルディスカッションでは、教育・社会・ジェンダー・キャリアといった多角的な視点から、「誰もがSTEMを自由に選び、活躍できる社会」を実現するための課題と可能性を議論します。

ハイブリッド開催
お申込み <https://form.cao.go.jp/scj/opinion-0358.html>
参加費無料
申込締切 令和8年2月17日(火) 事前参加登録をお願いします。



教育・探究・キャリアをつなぐ対話—
理系の男女差を解決する鍵は、
小中教育？家庭？地域？

STEM分野の未来を支える多様性とは：
教育・探究・キャリアをつなぐ対話—
理系の男女差を解決する鍵は、小中教育？家庭？地域？

コーディネーター

- 市川 選手 (日本学術会議第三部会員/東北大学大学院理学研究科教授)
新永 浩子 (日本学術会議連携会員/鹿児島大学学術研究院理工学域理学系准教授)
伊藤 由佳理 (日本学術会議第三部会員/東京大学国際高等研究所カブリ数物連携宇宙研究機構教授・副機構長)
島岡 まな (日本学術会議第一部会員/大阪大学大学院法学研究科教授)
三枝 信子 (日本学術会議第三部会員・副会長/国立研究開発法人国立環境研究所理事)

スケジュール

10:00 ~ 10:30	受付
10:30 ~ 10:35	開催挨拶 奥 篤史 (文部科学省 科学技術・学術政策局 人材政策課長)
10:35 ~ 10:40	趣旨説明 新永 浩子 (日本学術会議連携会員/鹿児島大学学術研究院理工学域理学系准教授)
10:40 ~ 12:30	第Ⅰ部：問題提起 - 離脱の構造を読み解く
	司会 市川 選手 (日本学術会議第三部会員/東北大学大学院理学研究科教授)
10:40 ~ 11:10	講演1 「科学技術・学術分野の男女共同参画の現状と内閣府における取組」 関口 隆 (内閣府 男女共同参画局 推進課 課長補佐) (講演 20分 講演 10分 質疑応答)
11:10 ~ 11:40	講演2 「中学生の『数学嫌い』、『理科嫌い』は本当か」 内田 昭利 (大阪大学大学院教育学研究科教授) (25分 講演 5分 質疑応答)
11:40 ~ 12:10	講演3 「STEM 分野の女性の動向：学童期から高等教育～社会人以降まで」 白井 恵美子 (日本学術会議第一部会員/一橋大学経済研究所教授) (25分 講演 5分 質疑応答)
12:10 ~ 12:30	第Ⅰ部 ディスカッション・補足コメント 登壇者+参加者全員
12:30 ~ 13:30	休憩
13:30 ~ 14:45	第Ⅱ部：学校教育現場からの実践報告
	司会 笠 潤平 (日本学術会議連携会員/香川大学名誉教授)
13:30 ~ 14:00	講演4 「数学の魅力伝える授業を目指して～学校設定科目『数学探究』での取り組みを中心に～」 十九浦 美里 (お茶の水女子大学附属高等学校 教諭) (25分 講演 5分 質疑応答)
14:00 ~ 14:30	講演5 「地方の小中高一貫校が目指すグローバル科学教育—夢のつばさプロジェクトから」 山崎 巧 (池田学園中学・高等学校 副校長) (25分 講演 5分 質疑応答)
14:30 ~ 14:45	第Ⅱ部 ディスカッション・補足コメント 登壇者+参加者全員
14:45 ~ 14:55	休憩
14:55 ~ 15:35	第Ⅲ部：探究と体験の中で育つSTEM的まなび「自ら問い、つながる学びへ」
	司会 藤井 良一 (日本学術会議連携会員/公財) 日本極地研究振興会理事長/情報・システム研究機構国立研究所特任教授)
14:55 ~ 15:25	講演6 「『夏学』に見る体験型STEM教育の可能性」 山本 文子 (芝浦工業大学工学部教授) (25分 講演 5分 質疑応答)
15:25 ~ 15:35	第Ⅲ部 ディスカッション・補足コメント 登壇者+参加者全員
15:35 ~ 16:15	第Ⅳ部：未来を描く - STEM 分野の新しい職業像「理工系の仕事」をもっと自由に
	司会 伊藤 由佳理 (日本学術会議第三部会員/東京大学国際高等研究所カブリ数物連携宇宙研究機構教授 副機構長)
15:35 ~ 16:05	講演7 「STEM から STEAM へ - 多様性がつくるイノベーションと未来のキャリア」 鈴木 朋子 (日本学術会議第三部会員/株式会社日立製作所専門理事/研究開発グループ技師長) (25分 講演 5分 質疑応答)
16:05 ~ 16:15	第Ⅳ部 ディスカッション・補足コメント 登壇者+参加者全員
16:15 ~ 16:25	休憩
16:25 ~ 17:30	第Ⅴ部：パネルディスカッション
	コーディネーター 新永 浩子 (日本学術会議連携会員/鹿児島大学学術研究院理工学域理学系准教授)
	パネリスト 横山 広美 (日本学術会議連携会員/東京大学 国際高等研究所カブリ数物連携宇宙研究機構 学際情報学府 教授)
	高橋 英則 (東京大学大学院理学系研究科天文学教育研究センター・木曾観測所助教)
	藤原 伸也 (日本学術会議第三部会員/東京科学大学教育本部特命教授/筑波大学数理解析系客員教授)
	島岡 まな (日本学術会議第一部会員/大阪大学大学院法学研究科教授)
	城戸 未宇 (鹿児島大学大学院理工学研究科博士後期課程3年 日本学術振興会特別研究員 (DC2))
	奥 篤史 (文部科学省 科学技術・学術政策局 人材政策課長)
17:10 ~ 17:30	第Ⅴ部 ディスカッション・補足コメント 登壇者+参加者全員
17:30 ~ 17:35	閉会挨拶 藤原 伸也 (日本学術会議第三部会員/東京科学大学教育本部特命教授/筑波大学数理解析系客員教授)